

番号	病名	所属学会	手術的アプローチ	担当科	調査状況	提出状況	備考
K614	経皮的冠動脈形成術	日本胸外科学会と日本血管造影・IVR学会が内科と協働	冠血流	インターベンション学会で400施設に専門的なアウトカムをやっている	インターベンション学会の協力を得てアウトカム調査	インターベンション学会より提出済み	
K614-2	経皮的冠動脈血性切離術						
K614-3	経皮的冠動脈形成術（高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの）		冠血流量、心電図				
K615	経皮的冠動脈ステント留置術		尿血流量、心電図、ステント開存率				
K645	食道内鏡全摘術	日本消化器外科学会	生存率	栃木ガンセンターで全開登録しているが、極めて数が少ないので調査の意味はないと思われる	基礎データのみ		
K677	胆管癌性腫瘍手術	日本消化器外科学会	生存率	胆道外科研究会が全国登録をやっている。手術の施設により術式がいろいろあり、術式別のデータは難しいがデータを取り寄せて検討してある	アウトカム調査		
K678	体外衝撃波胆石砕砕術（一度につき）	日本 Endourology・ESWL学会	胆石の残存率、再手術率	評価が難しい	アウトカム調査		
K695	肝切除術	日本消化器外科学会	生存率	日本肝癌研究会全国登録しているので基礎データはある	基礎データのみ		
K697-4	生体部分肝移植	日本移植学会	生存率	阪大病下先生がデータもっている。年間症例数2500例位	基礎データのみ		
K702	脾体部腫瘍切除術	日本消化器外科学会	生存率	日本癌学会(東北大)が全国登録しているためデータがあると期待	基礎データのみ		
K703	脾頭部腫瘍切除術	日本消化器外科学会	生存率				
K756	副腎癌性腫瘍手術	日本泌尿器科学会	生存率		症例数のみ調査		
K764	経皮的尿管結石除去術（経皮的腎鏡造設術を含む。）	日本 Endourology・ESWL学会	結石の残存率、再手術率	ESWLと泌尿器科合同で調査する	アウトカム調査	提出済み	
K765	経皮的腎癌腫瘍切除術（経皮的腎鏡造設術を含む。）	日本 Endourology・ESWL学会	生存率	ほとんど行われておらず、術式の廃止をしてもいいくらいの手術である	調査しない		
K768	体外衝撃波腎・尿管結石砕砕術（一度につき）		結石の残存率、再手術率	ESWLと泌尿器科合同で調査する	アウトカム調査	提出済み	
K779	腎臓腫瘍手術(生体)	日本移植学会			調査可能な施設中		
K780	同種腎臓手術(生体)	日本移植学会	生存率		調査可能な施設中		
K801	膀胱癌手術	日本泌尿器科学会	生存率	ほとんど行われていない	基礎データのみ	提出済み	
K803	膀胱癌性腫瘍手術（経尿道的な手術を除く）	日本泌尿器科学会	生存率		アウトカム調査	提出済み	
K818	尿管成形手術	日本泌尿器科学会	膀胱機能		アウトカム調査	提出済み	
K819	尿管下段成形手術	日本泌尿器科学会	膀胱機能		アウトカム調査	提出済み	
K820	尿管上段成形手術	日本泌尿器科学会	膀胱機能		基礎データのみ	提出済み	
K843	前立腺癌腫瘍性腫瘍手術	日本泌尿器科学会	生存率		アウトカム調査	提出済み	
K850	女子外性器腫瘍手術	日本産科婦人科学会	生存率		基礎データのみ	提出済み	
K857	陰茎癌性腫瘍手術	日本産科婦人科学会	生存率		調査可能な施設中	提出済み	
K859	陰嚢腫瘍(陰嚢炎利用によるものを除く)	日本産科婦人科学会	生存率		基礎データのみ	提出済み	
K889	子宮頸癌腫瘍性腫瘍手術(西側)	日本産科婦人科学会	生存率		アウトカム調査	提出済み	
K890-2	卵管腫瘍性腫瘍手術	日本産科婦人科学会	閉塞率		基礎データのみ	提出済み	

K528	先天性食道閉鎖症根治手術	日本小児外科学会			データ提出済みであるので改めて調査しない	提出済み	
K535	胸腹型ヘルニア手術						
K568	心房内血流手術						
K573	大動脈弁上狭窄手術						
K574	大動脈弁下狭窄切除術（縮減性、肥厚性を含む）						
K583	肺静脈逆流異常症手術（肺静脈逆流異常のものに限る）						
K584	ジエーン手術						
K585	冠動脈起始異常症手術						
K590	単心室症手術（心室中隔造設術）						
K591	両大血管右室起始症手術（右室流出路形成を伴うものに限る）						
K592	卵巣大血管転換症手術						
K593	肺動脈狭窄手術						
K594	心内臓大動脈手術(心室中隔欠損を伴うもの)						
K594-2	左心低形成造設手術（ノルウッド手術）						
K684	先天性胆道閉塞手術						
K695	肝切除術						
K729	腸閉塞手術						
K751	鎖肛手術（仙骨会陰式及び腹会陰式並びに腹仙骨式）						
K751-2	仙骨部成形手術						
K756	副腎癌性腫瘍手術						
K773	腎(尿管)癌性腫瘍手術						

## 鼓室形成術アウトカム・レポート（日本耳鼻咽喉科学会）

- ① 大学病院の年間症例数は 37-291 と各施設において差がみられた（資料 1）。
- ② 今回提示した大学病院と総合病院における年間症例数の平均は 113、143 と大きな差はみられない（資料 1）。
- ③ 今回提示した大学病院と総合病院における全体成功率、Ⅲ型成功率の平均は 75.3%、71.1%でほぼ同様であった（資料 1）。
- ④ 今回提示した大学病院と総合病院におけるⅠ型成功率、Ⅳ成功率の平均は大学病院が良好であった（資料 1）。
- ⑤ 年間症例数と全体、Ⅰ型、Ⅲ型、Ⅳ型成功率に相関関係は認めなかった（資料 2）。
- ⑥ 年間症例数が多い施設ほど成功率が高いことはなく、また症例数が少ない施設ほど成功率が低いということはない（資料 2）。
- ⑦ 全体、Ⅰ型、Ⅲ型成功率は年間症例数にかかわらずほぼ一定の値を示した（資料 2）。
- ⑧ 対象疾患を耳疾患全体で検討しても年間症例数とⅢ型成功率に相関関係は認めず、ほぼ同様な値を示した（資料 3）。
- ⑨ 対象疾患を鼓室硬化症で検討しても大学病院と総合病院における全体成功率は 71.6、71.1%ほぼ同様であった（資料 4）。

## 鼓室形成術聴力成績と症例数(全体)

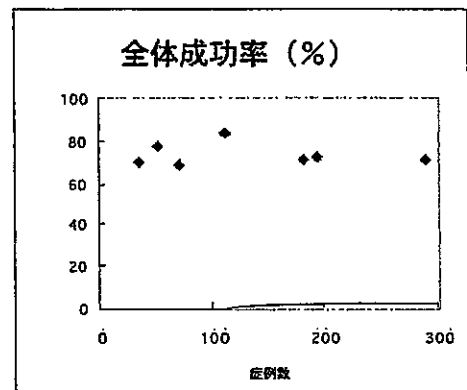
施設	年間症例数	対象疾患	対象症例数	全体成功率 (%)	I型成功率 (%)	III型成功率 (%)	IV型成功率 (%)
大学病院 A	291	真珠腫性中耳炎	543	70.3	87	69	55
大学病院 IB	195	鼓室硬化症	74	71.6	72.7	68.5	100
大学病院 IC	113	慢性中耳炎	626	83.7			
大学病院 ID	80	耳疾患	128			78.1	
大学病院 IE	71	耳疾患	128	68.8		72.7	62.7
大学病院 IF	64	耳疾患	159			67.7	58.7
大学病院 IG	52	真珠腫性中耳炎	52	76.9	78.6	88.5	50
大学病院 IH	37	耳疾患	43	69.8	81.8	70.8	50
総合病院 I	182	鼓室硬化症	121	71.1	68.2	75.3	25
総合病院 III	103	耳疾患	87			79.3	

	検討施設数	年間症例数 (平均)	全体成功率 (平均)	I型成功率 (平均)	III型成功率 (平均)	IV型成功率 (平均)
大学病院	8	37-291 (113)	68.8-83.7 (73.5)	72.7-87.0 (80.0)	67.7-88.5 (78.6)	50.0-100 (62.7)
総合病院	2	103-182 (143)	71.1 (71.1)	68.2 (68.2)	75.3-79.3 (77.3)	25.0 (25.0)

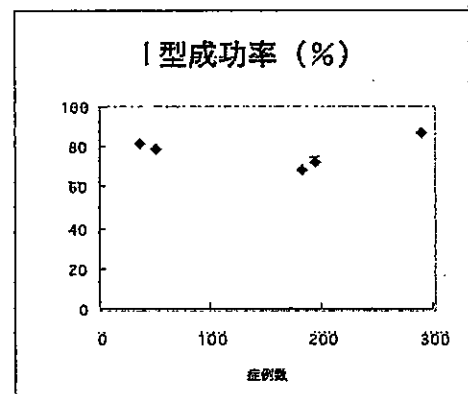
鼓室形成術聴力成績と症例数 (全体グラフ)

施設	年間症例数	全体成功率 (%)	I型成功率 (%)	III型成功率 (%)	IV型成功率 (%)
大学病院 A	291	70.3	87	69	55
大学病院 B	195	71.6	72.7	68.5	100
大学病院 C	113	83.7			
大学病院 D	80			78.1	
大学病院 E	71	68.8		72.7	62.7
大学病院 F	64			67.7	58.7
大学病院 G	52	76.9	78.6	88.5	50
大学病院 H	37	69.8	81.8	70.8	50
総合病院 I	182	71.1	68.2	75.3	25
総合病院 II	103			79.3	

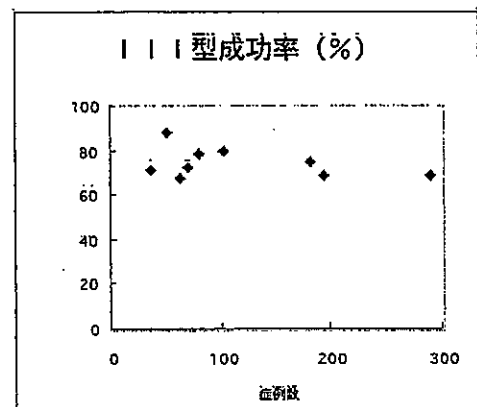
施設	年間症例数	全体成功率 (%)
大学病院 A	291	70.3
大学病院 B	195	71.6
大学病院 C	113	83.7
大学病院 E	71	68.8
大学病院 G	52	76.9
大学病院 H	37	69.8
総合病院 I	182	71.1



施設	年間症例数	I型成功率 (%)
大学病院 A	291	87
大学病院 B	195	72.7
大学病院 G	52	78.6
大学病院 H	37	81.8
総合病院 I	182	68.2

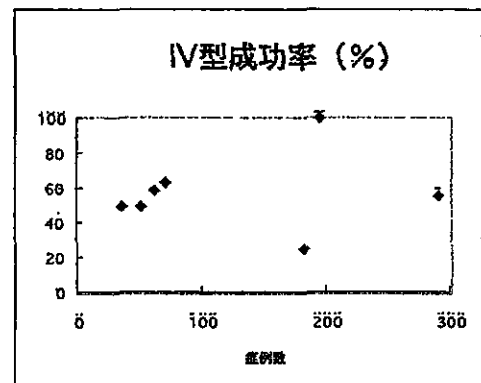


施設	年間症例数	III型成功率 (%)
大学病院 A	291	69
大学病院 B	195	68.5
大学病院 D	80	78.1
大学病院 E	71	72.7
大学病院 F	64	67.7
大学病院 G	52	88.5
大学病院 H	37	70.8
総合病院 I	182	75.3
総合病院 II	103	79.3



鼓室形成術聴力成績と症例数 (全体グラフ)

施設	年間症例数	IV型成功率 (%)
大学病院 A	291	55
大学病院 B	195	100
大学病院 E	71	62.7
大学病院 F	64	58.7
大学病院 G	52	50
大学病院 H	37	50
総合病院 I	182	25



## 鼓室形成術聴力成績と症例数 (耳疾患)

施設	年間症例数	対象疾患	対象症例数	全体成功率 (%)	I型成功率 (%)	III型成功率 (%)	IV型成功率 (%)
大学病院 D	80	耳疾患	128	68.8		78.1	62.7
大学病院 E	71	耳疾患	128			72.7	
大学病院 F	64	耳疾患	159			67.7	
大学病院 H	37	耳疾患	43	69.8	81.8	70.8	50
総合病院 II	103	耳疾患	87			79.3	

対象を耳疾患に限定

	検討施設数	年間症例数 (平均)	全体成功率 (平均)	I型成功率 (平均)	III型成功率 (平均)	IV型成功率 (平均)
大学病院	4	37-80 (63)	68.8-83.7 (73.5)	81.8 (81.8)	67.7-78.1 (72.3)	50-62.7 (57.1)
総合病院	1	103 (103)			79.3 (79.3)	

## 鼓室形成術聴力成績と症例数 (鼓室硬化症)

施設	年間症例数	対象疾患	対象症例数	全体成功率 (%)	I型成功率 (%)	III型成功率 (%)	IV型成功率 (%)
大学病院 B	195	鼓室硬化症	74	71.6	72.7	68.5	100
総合病院 I	182	鼓室硬化症	121	71.1	68.2	75.3	25

対象を鼓室硬化症に限定

	検討施設数	年間症例数	全体成功率	I型成功率	III型成功率	IV型成功率
大学病院	1	195	71.6	72.7	68.5	100
総合病院	1	182	71.1	68.2	75.3	25

平成 17 年 2 月 8 日

外科系学会社会保険委員会連合 御中

(社) 日本産科婦人科学会

会 長 藤井信吾

社会保険学術委員会委員長 植木 實

### 手術アウトカムと症例数に関するアンケート調査報告

本会では従来より施設基準手術設定数の調査を行ってまいりましたが、この度の手術アウトカムと症例数に関する調査につきましては、手術症例数に加えて手術に関する基礎データや生存率についてもデータを集積し解析致しました。

K850 (女子外性器悪性腫瘍手術)、K857 (膣壁悪性腫瘍手術)、K859 (造膣術)、K889 (子宮附属器悪性腫瘍手術)、K890-2 (卵管鏡下卵管形成術) の各々に関して、2003 年 4 月 1 日～2004 年 3 月 31 日における症例数、年齢、手術時間、出血量、術後在院日数を調査しました。また、子宮附属器悪性腫瘍手術につきましては、平成 11 年度に行った手術症例の予後 (5 年生存率) を調べました。日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導医施設 841 施設に別紙のようなアンケートを送付し、474 施設から回答を得ました (回収率: 56.4%)。症例数の分布は、子宮附属器悪性腫瘍手術では 0-66 例と施設により様々でありましたが、他の手術では 60-70% の施設が施行数 0 で、施行している場合も大部分が 1-3 例程度でした。そこで統計的処理が可能な子宮附属器悪性腫瘍手術に関して詳細に解析しましたところ、平均症例数 9.5 例、平均年齢 54.4 歳、平均手術時間 3.4 時間、平均出血量 942.4 ml、平均術後在院日数 43.9 日でありました。また、5 年生存率は平均 63.7% でおおむね正規分布を示しました。次に、症例数と施設病床数、年齢、手術時間、出血量、術後在院日数、5 年生存率各々との関連性を回帰分析しましたところ、全てにおいて有意な相関関係は見られませんでした。今回のアンケートでは平成 11 年度の手術症例で 5 年生存率を算定しているため、厳密な意味での比較はできませんが、少なくとも本調査では症例数と 5 年生存率には有意な関連性はない (相関係数 0.09、P 値 0.086) ことが判明しました。以上より、子宮附属器悪性腫瘍手術においては施設症例数とアウトカム (予後) は相関しないことが結論されました。



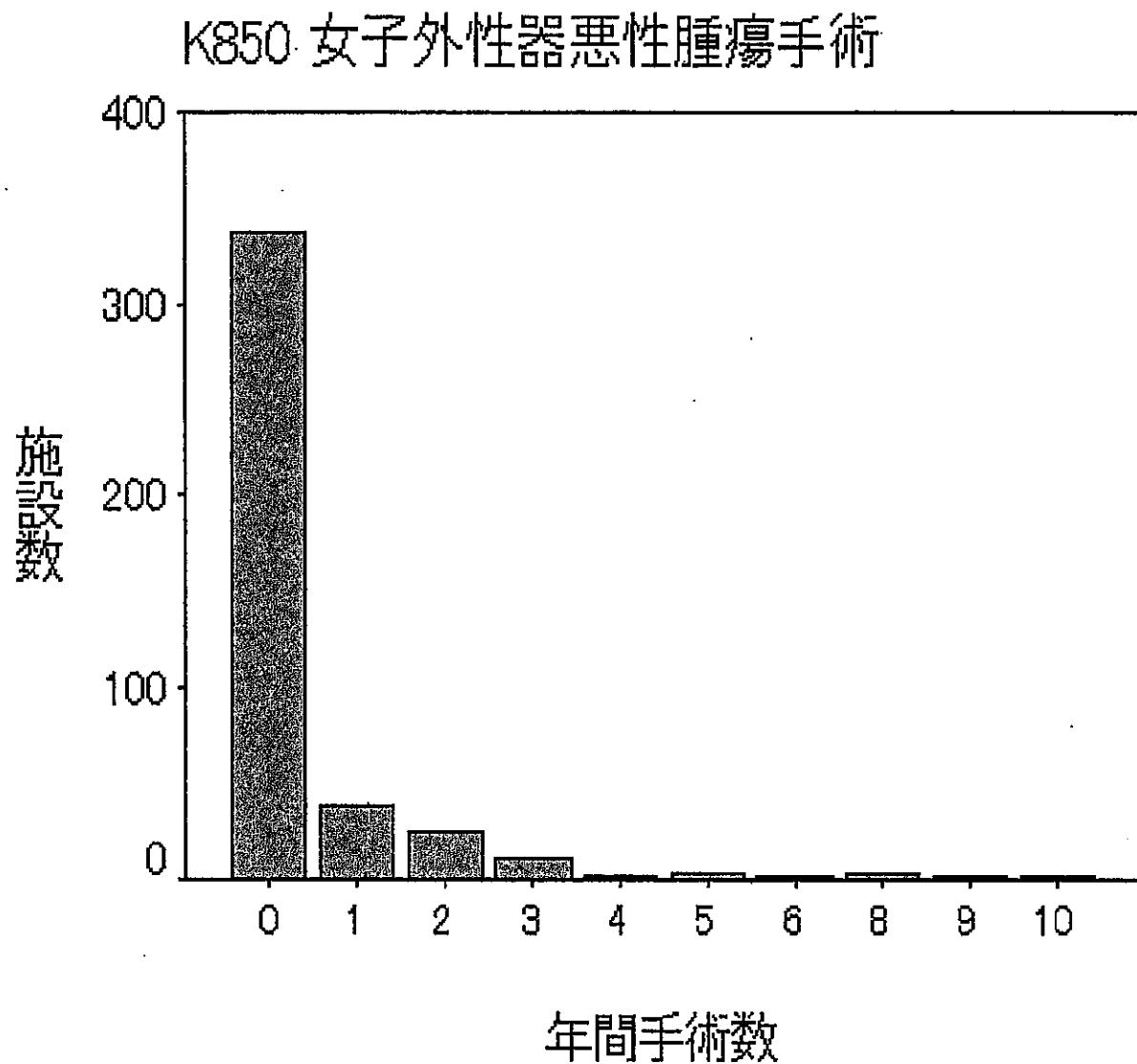


図1 女子外性器悪性腫瘍手術症例数の分布

### K857 腔壁悪性腫瘍手術

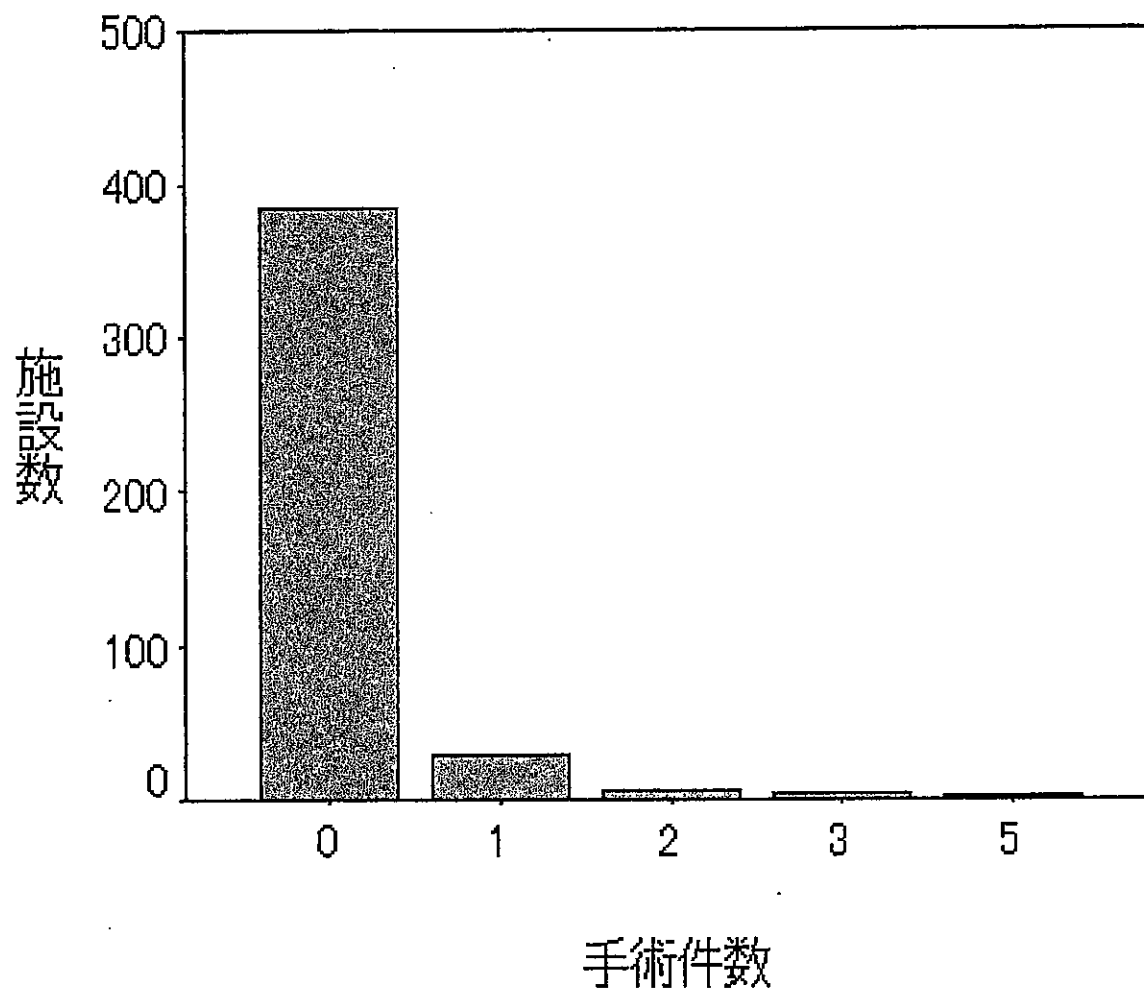


図2 腔壁悪性腫瘍手術症例数の分布

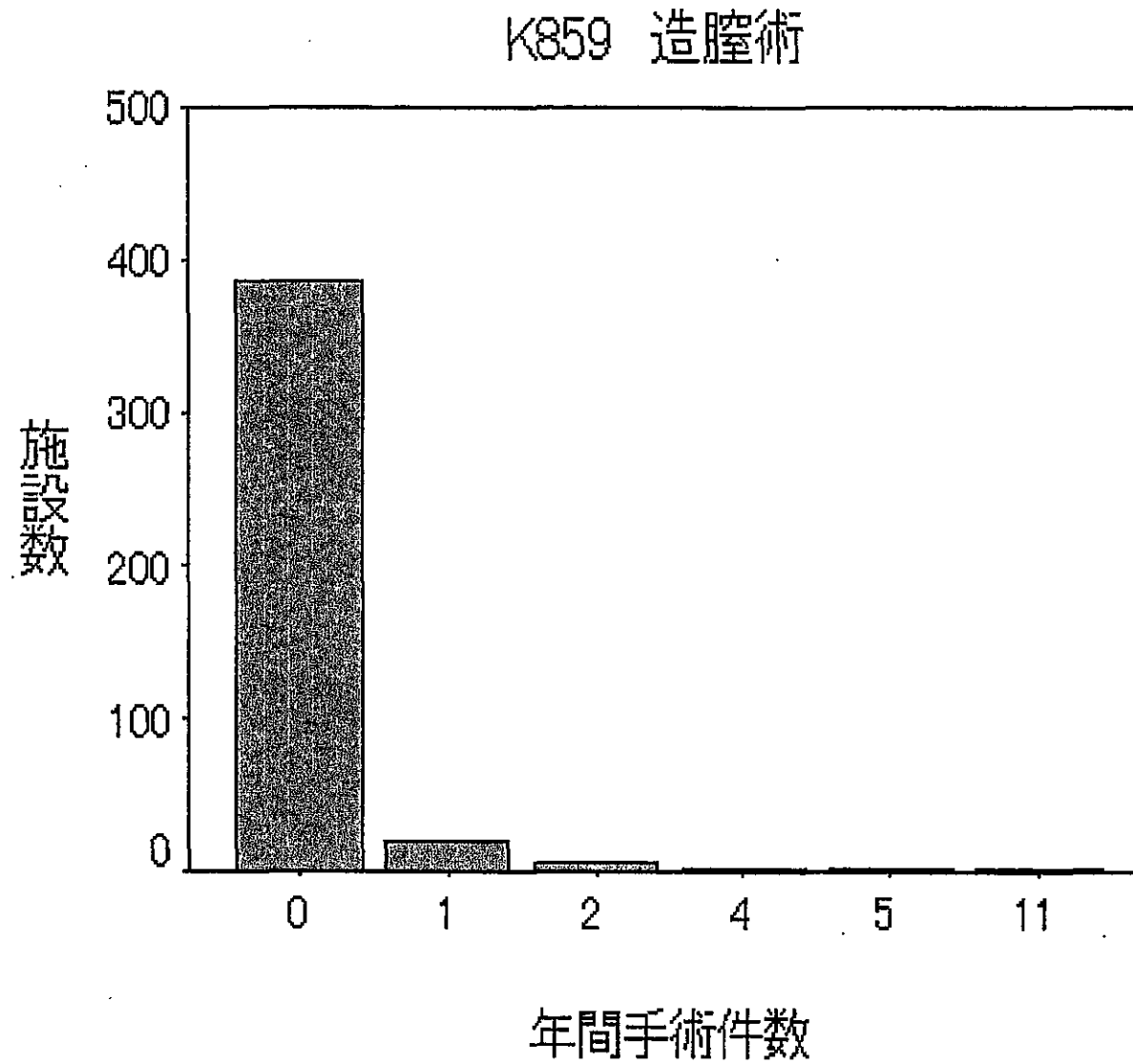


図3 造膈術症例数の分布

K889 子宮附属器悪性腫瘍手術

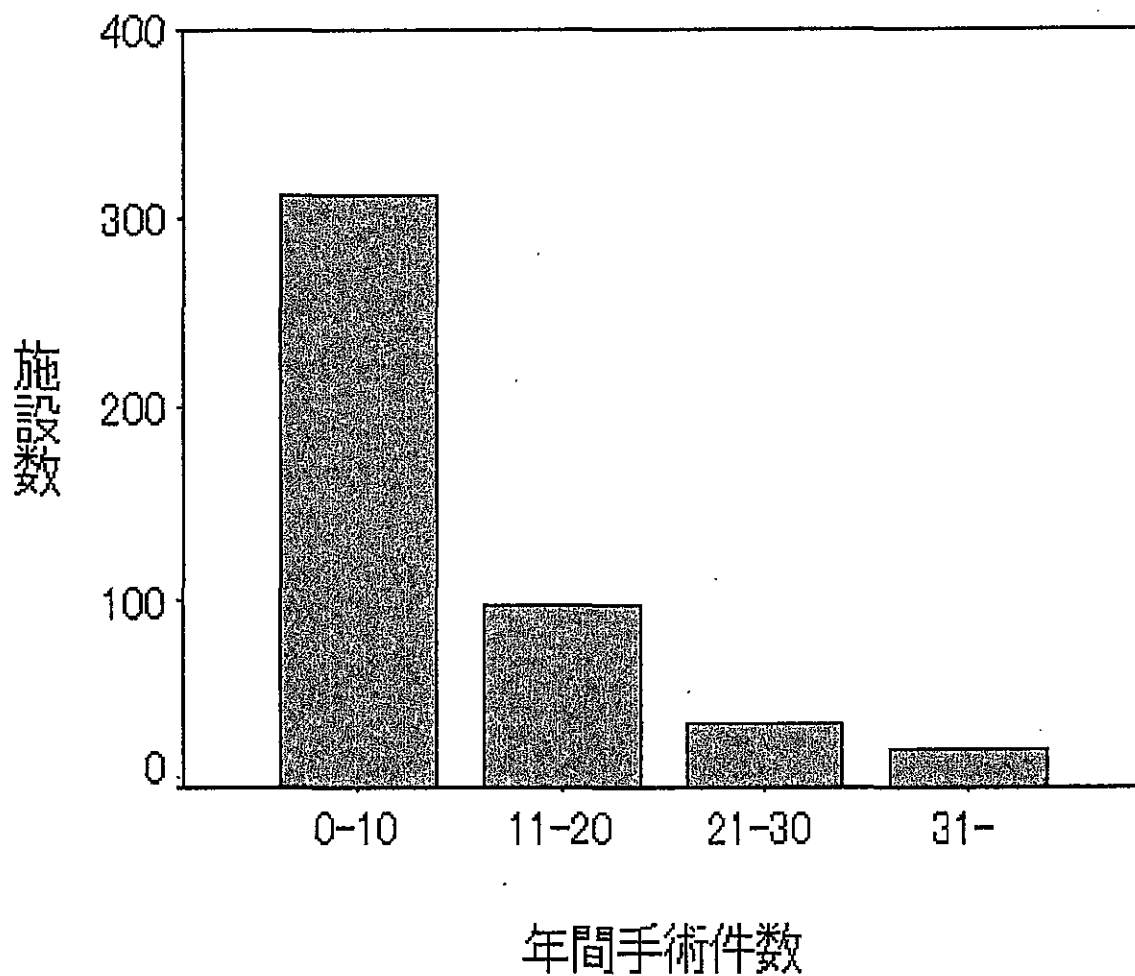


図4 子宮附属器悪性腫瘍手術症例数の分布

## K890-2 卵管鏡下卵管形成術

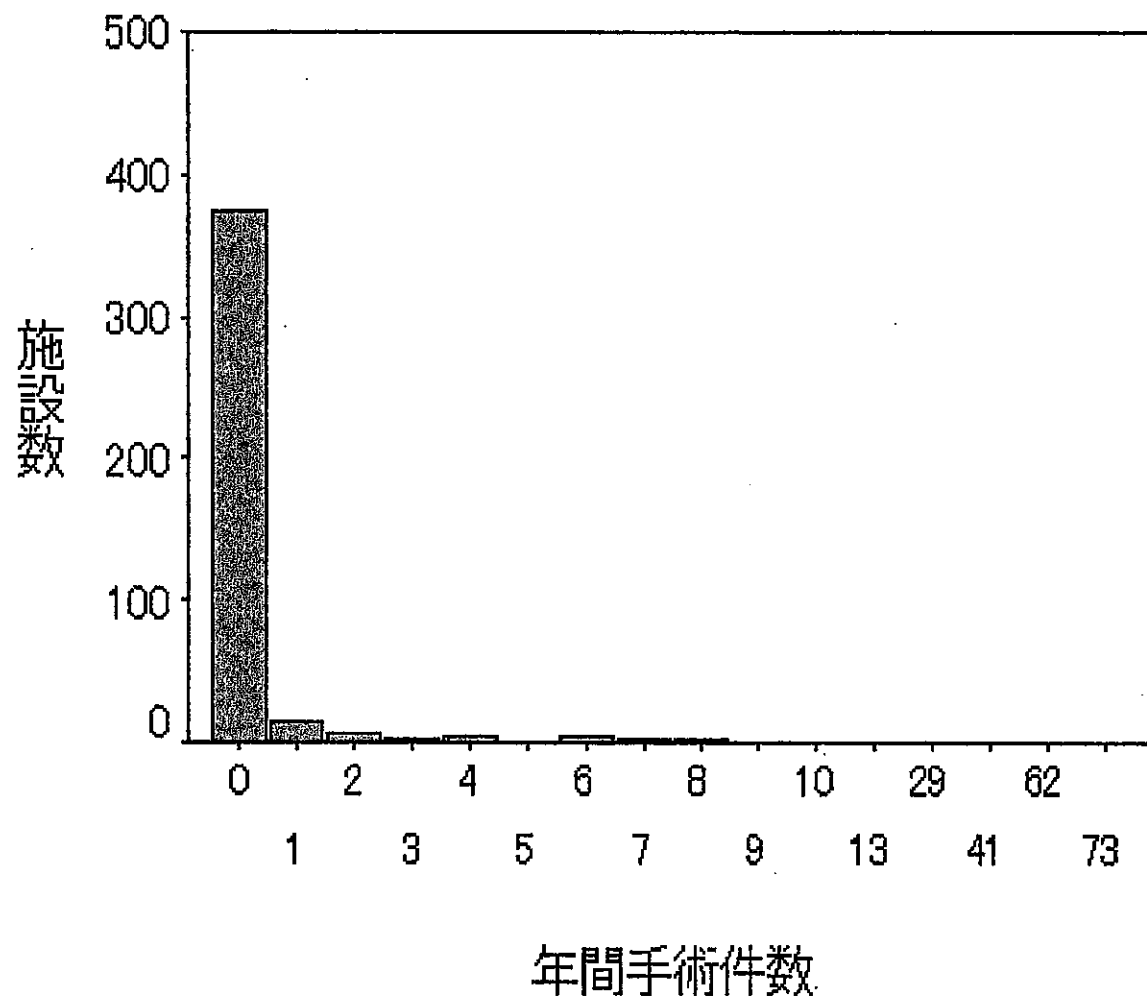


図5 卵管鏡下卵管形成術症例数の分布

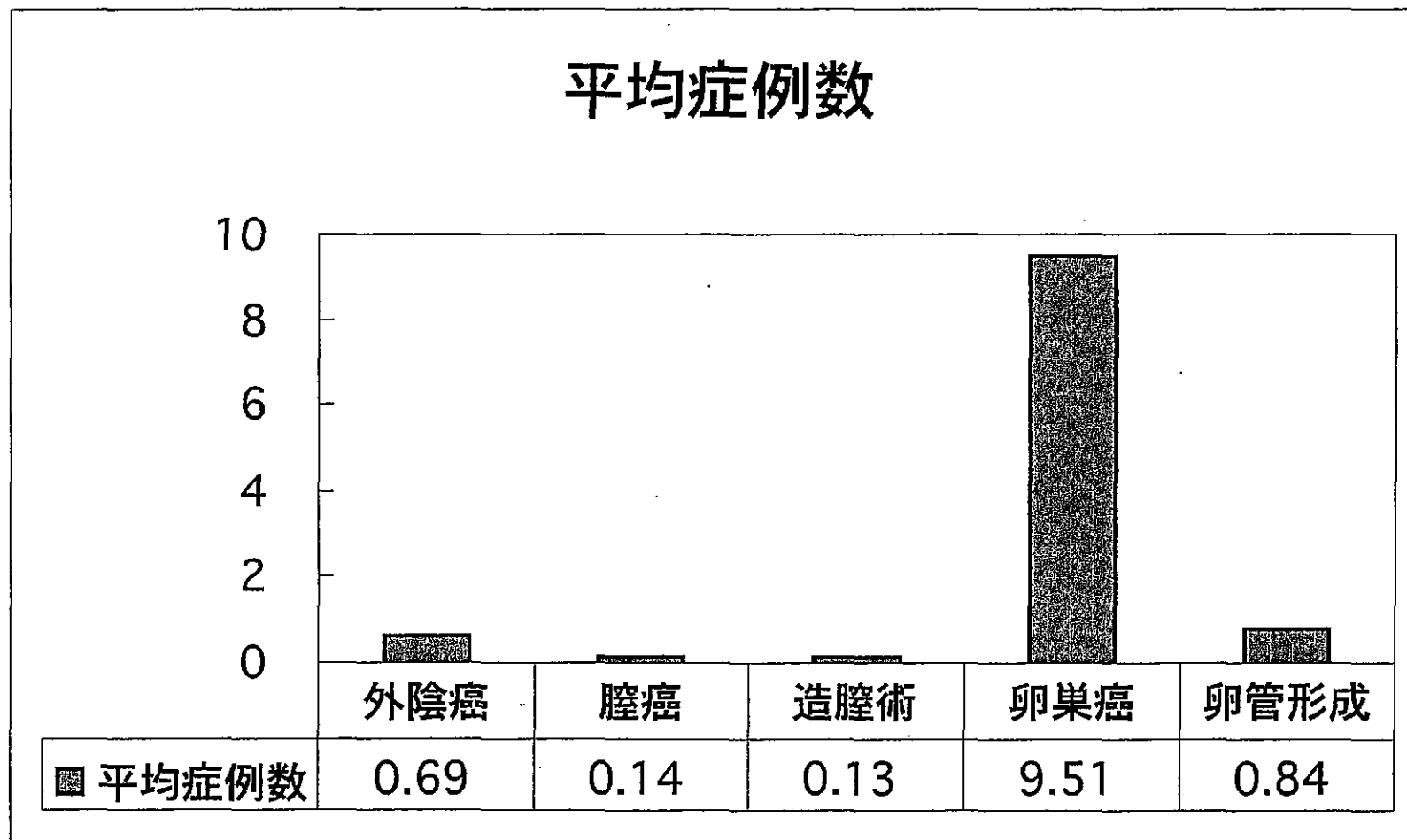


図6 各手術群における平均症例数

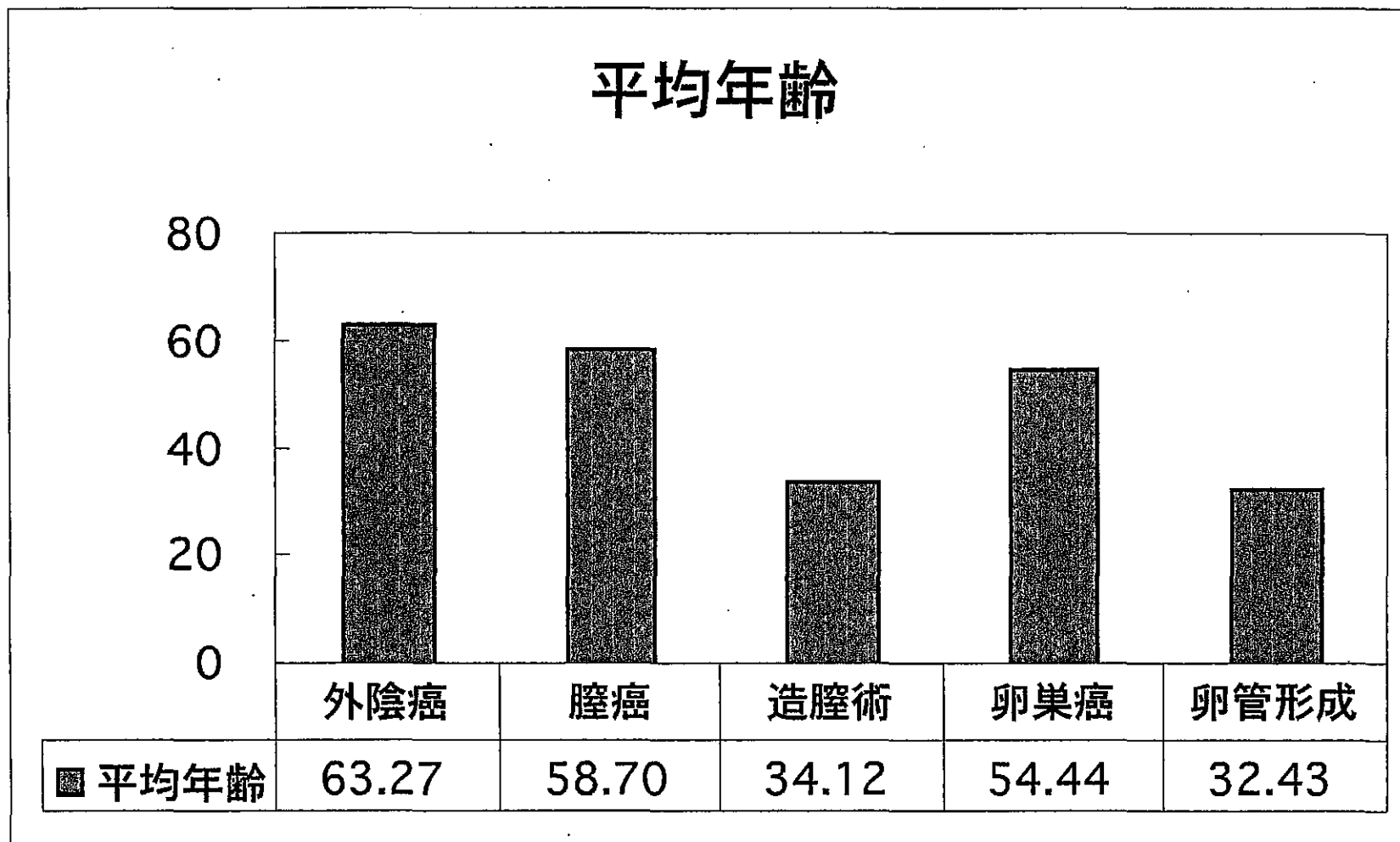


図7 各手術群における平均年齢

## 平均手術時間

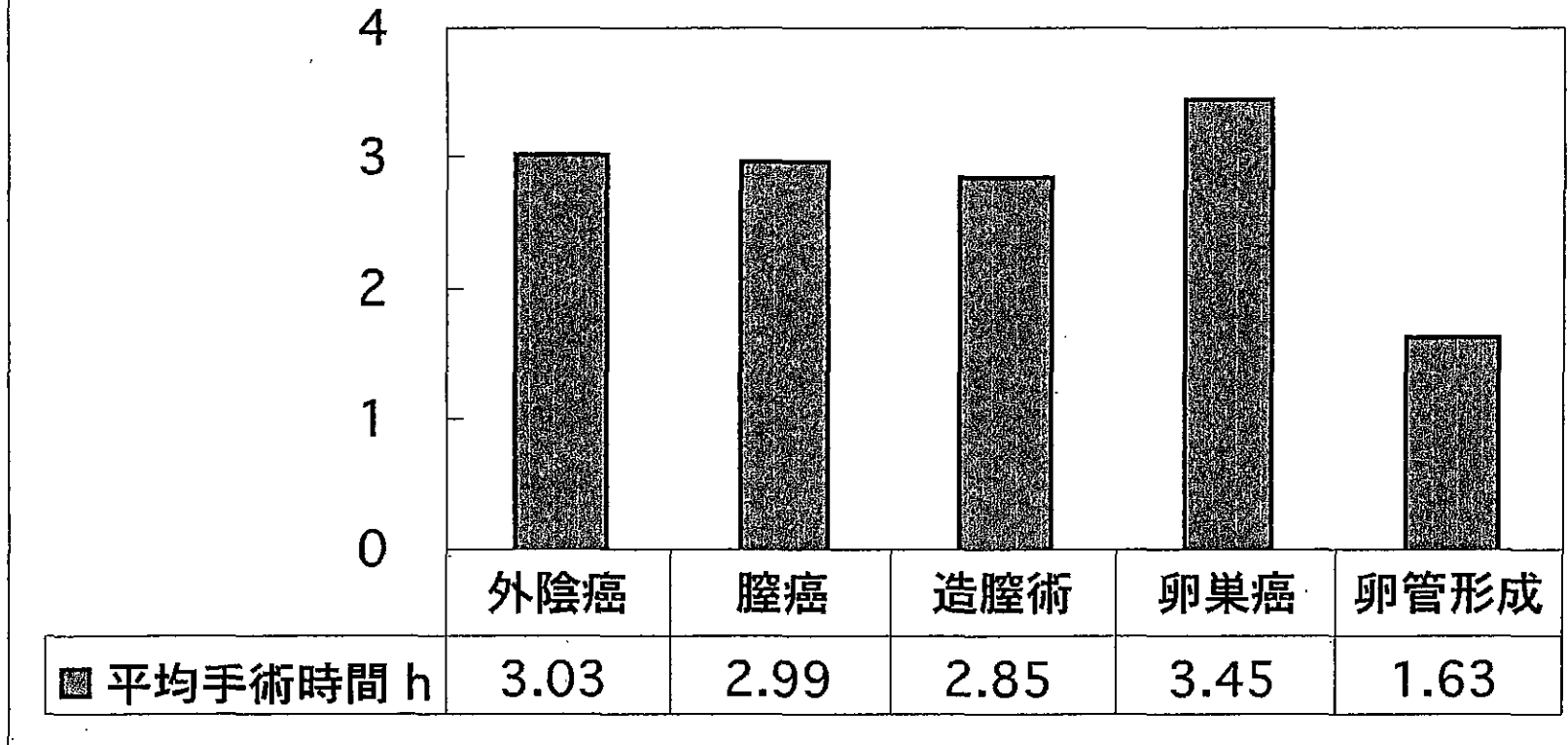
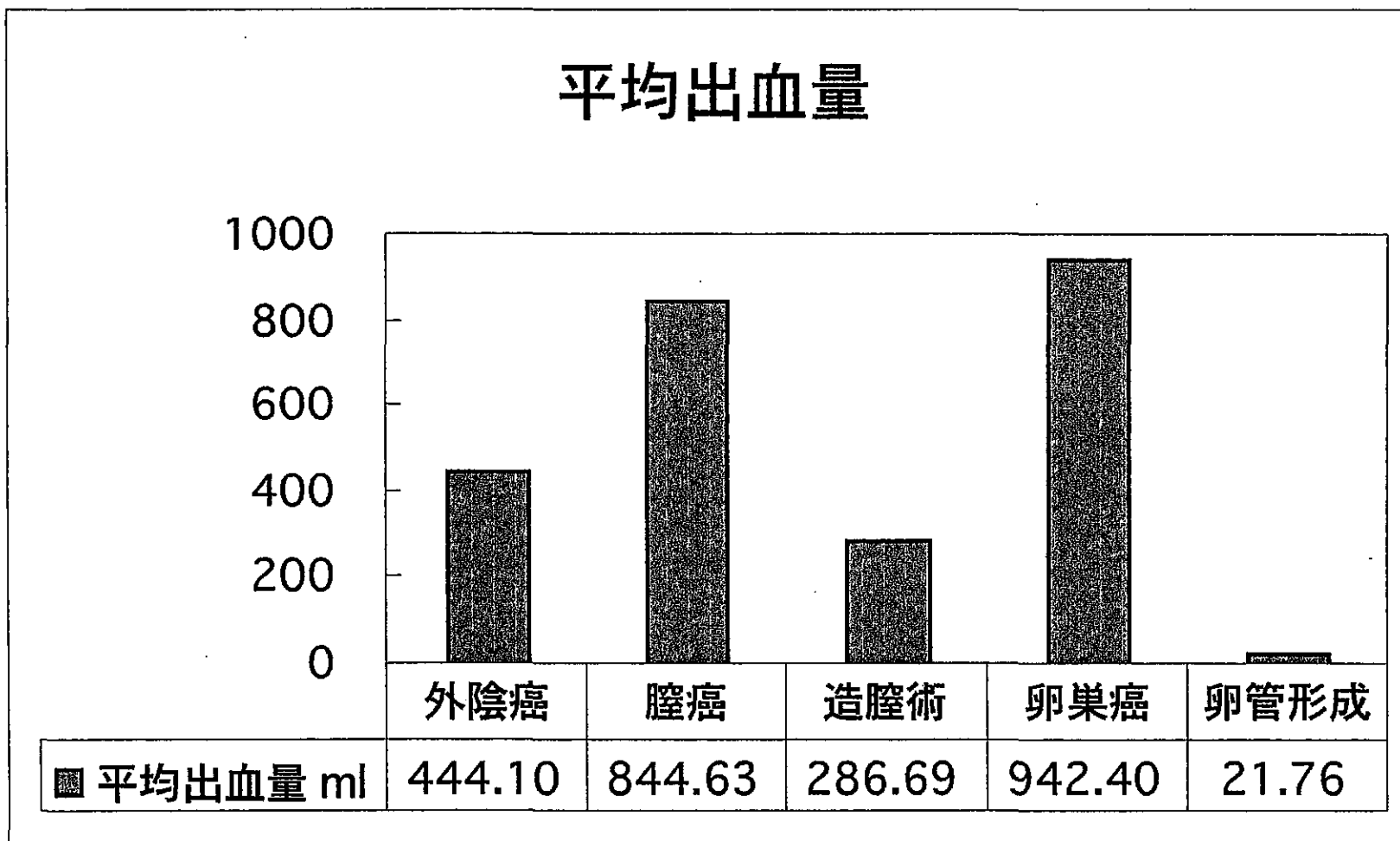


図8 各手術群における平均手術時間





**図9 各手術群における平均出血量**

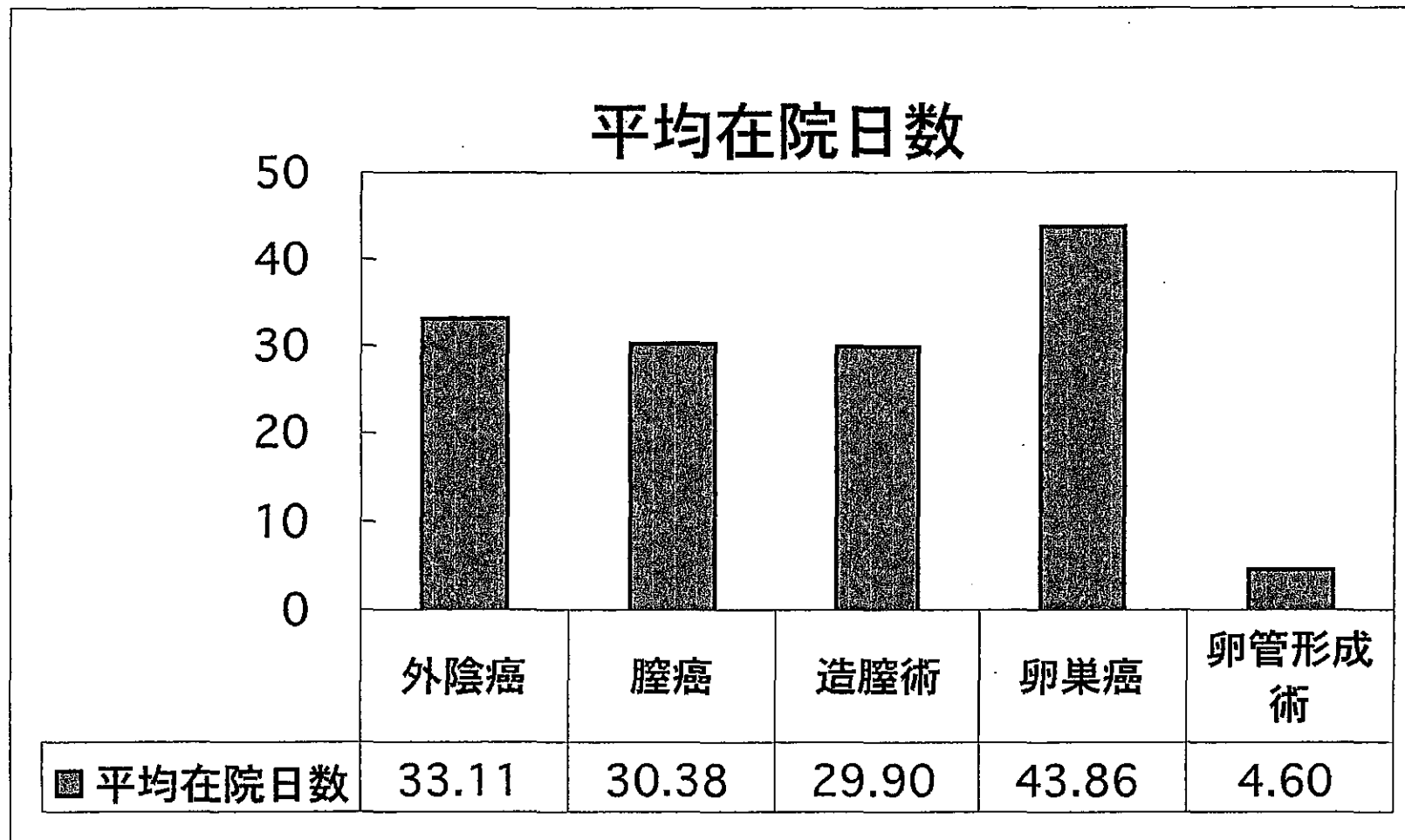


図10 各手術群における平均術後在院日数